



新年度のはじまり 歓迎会直後の年長組の仲間たち

標津幼稚園 ほし組

しべっ議会だより

3 月定例会

第130号

平成21年5月1日

補正予算	国の緊急経済対策で実施……	2～3
一般質問	療養病床廃止は緊急の課題…	4～7
予算点描	健康づくりに検診率向上策は…	8～9
町民の声	プレミアム商品券は不公平……	10

平成21年度 全会計予算総額 79億4,338万円決まる

3月12日から18日まで平成21年第1回定例会が開催され、当初予算並びに関連議案を原案どおり全会一致で可決しました。

条 例 改 正

▽給与に関する条例

※職員の仕事による手当の加算分、町長・副町長・教育長・議会議員の期末手当15%分の給与減額を7年間継続しているが、引続き平成21年度分についても凍結する。

▽介護保険条例

※平成21年から23年まで

の介護保険料が改定されます。所得に応じて7段階の保険料に分かれます。

基準年額48,000円

▽下水道条例

※使用料によって管理費を賄うため、基本料金は据え置き、超過料金のみ1円あたり21円値上げします。

補 正 予 算

○リフレッシュ基金積立金 5,008万円

※施設の修繕・改修に充てる目的基金

○障がい者自立支援扶助 340万円

○障害者介護・訓練等給付費 450万円

※児童デイサービス利用者の増加に伴う。

○酪肉経営振興対策基金積立金 3,014万円

○水産振興基金積立金 3,000万円

○除排雪経費

700万円

※予算不足による。

○秋鮭不漁に伴う鮭関連事業者への金融対策緊急支援事業 301万円

○金山スキー場中古圧雪車購入費補助 73万円

第2回臨時議会 4月2日開催

補正予算

赤ちゃん誕生祝い金

70万円

プレミアム商品券発行事業補助金

990万円

※国の交付金を基金としていた分から支出します。

質 疑

Q プレミアム商品券がJA標津店で使えないのは何故か。

A 商工会が事業主体で行っている。JA標津店に事業参加を打診したが商工会に加入していないこともあり、遠慮したと聞いている。

Q 事業目的は消費流出対策でもあり、町内消費を促進することが重要であると思う。町が主体的に取組んで町全体の商工振興の視点で考えるべき

赤字経営でも地域振興のために努力しており、存続する方策をとるべきではないか。

A 町が介入すべきことではないと思うがJA標津と商工会との相互連携を積極的に進めることは良いことだと思う。

3年連続6回目 祝 全日本リコーダーコンテスト
金賞連続受賞おめでとう！
標津高等学校吹奏部

第1回臨時議会 2月23日開催

条例制定

残りを今回の補正予算で計上しています。

▽産業経済活性化等対策基金条例

※国の緊急経済対策による臨時交付金1億7,582万円のうち、5,274万円を平均21年度中に支出することにして設置。

▽介護従事者処遇改善臨時特例基金条例

※本年度介護報酬が改定され、介護従事者の処遇改善や急激な保険料の上昇に対応するために国から臨時に交付されるものを設置します。

補正予算

○病院・医師住宅塗装

546万円

○自給粗肥料推進事業（農協助成）

1,000万円

○沿岸漁業振興事業（漁協助成）

1,000万円

○教職員住宅整備改修

2,146万円

○学校図書緊急整備事業

600万円

○町営プールなど体育施設改修

1,267万円

○恵盟寮改修627万円

※高校生確保対策として浴室・トイレなど改修

○自動車練習場跡地整備

819万円

○定額給付金給付事業

9,781万円

○子育て応援特別手当給付事業

365万円

49万円

質疑

Q 緊急経済対策交付金の一部を基金に保留した理由は何か。

A 緊急の対応と中長期の対策を検討した。

Q 農家は貯金や家計費を大幅に削って生活し、税の収納も滞納している。こういう時こそ、速やかに予算を充てるべきではないか。

A 他町と比較しても基幹産業に重点を置いた予算執行をしている。政策のバランスも必要なことです。

Q 今回の基金造成で昨年12月に続き、プレミアム商品券の発行を考えるべではないか。30%のプレミアムにしてはどうか。

A 昨年の実施結果は非常に好評だった。定額給付金も支給されるので商工会が主体性をもった中で考える。

意見書

① 北海道の自衛隊体制維持を求める意見書

提出者 総務経済常任委員長 千葉 元
防衛計画の大綱の見直し及び次期中期防衛力整備計画の策定に際し、地域の意向を十分に配慮した体制が維持されるよう要望する。

② 市町村立病院の経営安定化と療養病床の維持継続を求める意見書

提出者 文教福祉建設常任委員長 小川 悠治
療養病床を持つ病院や不採算、小規模病院の経営安定のため、診療報酬を増額すること。公的病院に地方交付税措置を増額し経営安定を図ること。介護療養病床を再評価し継続すること。

③ 中山間地域等直接支払い交付金制度の継続に関する意見書

提出者 総務経済常任委員長 千葉 元
北海道における農業生産基盤の維持や集落、地域活動の活性化、生産性収益の更なる向上などをはかるため、22年以降も交付金制度を堅持継続すること。

④ 郵政民営化法の見直しに関する意見書

提出者 吉田浩一議員
国民共有の財産である「郵便局ネットワーク」を維持するとともに郵便、貯金、保険のサービスが一体的に運営されるように法の見直しを含め必要な措置を講ずること。

一般質問

Q

&

A

4人の議員が9項目にわたり町長・教育長に質問を行いました。

**療養病床廃止、
施設整備は緊急の課題**

**施設に転換しての
継続は出来ない状況**



小川悠治議員

Q 3年後に病院の介護療養病床が完全に廃止される。

「はまなす苑」の常時待機者80人がさらに急増

する。結果的に介護条件の整っていない自宅介護の道しか選択できない。受け入れ施設整備は緊急の課題。

A 中標津にある病院の療養病床60の転換継続は年間1億円の減収になり、無理な状況である。標津町民も利用しているが対策が取れないのが現状。

認知症対応型

グループホーム建設

相互信頼関係が大事

町も誠意をつくす

会社を地元で設立し、全面的地元企業利用・地元雇用の意向を示している↓町としても積極的支援策を

Q 本年、町内初の地域密着型グループホームが建設される。標津に会社を設立し、全面的地元雇用と地元企業利用の意向

を示している。

町として次期建設も含め積極的支援策が必要。

A 町の対応として、町有地2,000㎡の無償譲渡と建設に伴う国庫補助申請をする(20年21年各1,500万円)。施設介護は保険料アップにも繋がり招致後も経営の安定化に關与していく。

Q 高齢者に対する除雪対策が必要と思われる。社協・町内会にて高齢者などに対する一部除雪支援事業がおこなわれているが、特に、車道除雪による雪山対策が必要。

大きな課題。財政力に難

高齢者に対する除雪対策を

Q 高齢者に対する除雪対策が必要と思われる。

社協・町内会にて高齢者などに対する一部除雪

支援事業がおこなわれているが、特に、車道除雪

A 種々検討してきたが、対象世帯が300とかなり多く、町の財政力から具体的対応が難しい。地域連携や智恵で早期に結論を出さなければならぬ大きな課題と捉えている。



グループホームでつろぐ高齢者の皆さん

地元人材と育成について。
A 職員の地元採用を申し出ているが、資格関係で地元で充足できない場合は、地元定住の条件に応えてくれると思う。

Q 事業主は、町内在住者の優先的入所を表明しているが、実質的に可能か。
A 隣接自治体を含めて標津圏域と考える。ホームは所在地の町のサービス給付を受ける。地元の入所希望者への優先的配慮を期待している。

定額給付金・30%の プレミアム券を

即効あり、消費者との
持続的信頼関係を要望



木下 孝議員

Q 「100年に一度」

といわれる金融危機は実態経済である景気後退を増幅させ、住民生活、特に生活弱者の方々に急激なスピードで押し寄せ、地方のすみずみにまで浸透し、今や町民生活が深刻な現状である。町は定額給付金の支給に合わせてプレミアム商品券（割増商品券）の発行を表明しているが、割増分を30%とすべきである。給付の基準日は2月1日であるが、その支給期間の6ヶ月以内に出生した子、および65歳になった人に

町独自で割増分の対応ができないか。

・定額給付金から各種滞納金を徴収できないか。

A 昨年12月のプレミアム券については販売から



返還が叫ばれる国後島を望む

20日で74%が消費され即効的効果があった。新規客の呼び込み・生活者支援で町の経済に高い波及効果があった。商工会から定額給付金に合わせて第3次プレミアム商品券販売事業の要望があった。一過性の事業ではなく、消費者との持続的な信頼関係や効果を最大限にするための独自の方策を要望し、プレミアム30%の

支援をしたい。

・子育て、高齢者対策は総合施策となる。

・滞納整理は国の趣旨になじまない。個々の徴収

想談の中で対応したい。
【追記（対応）】21年2月2日～9月30日に誕生した子1人につき2万円相当の商品券を支給】

停滞し続ける

北方領土問題

低調である、

中学生弁論大会に感動

Q 停滞し続ける北方領土問題に関し、元島民の一員として町長の認識見解を伺いたい。

① 2月18日サハリンにおける日口首脳会談の評価は。

② 近年の北方領土返還国民運動が低調である。

③ 北隣協の「再構築提言書」は具現化されているか。

④ 管内大会もセレモニー化、イベント化していないか。

A 解決のための具体的進展はない。地元が期待

した結果でなかった。

② 低調である。しかし、全道・全国での継続返還運動により、若い世代に返還へのおもいを伝える取組が広がりをみせている。

③ 実現されていない。1市4町の地域振興として、沖縄並の補助率を求めている。

④ 根室市を中心とした返還運動であるが、中学生弁論大会が参加者に感動を与えており重要な事業として今後も継続されることを願っている。

これで良いのか？ 産業経済政策

時間はかかるが検討したい



安達 護議員

Q

標津町の産業経済はかつて経験したことのない厳しい環境にある。

漁業の秋サケは未曾有の不漁に終わり、水産業者や加工、流通業にとっても不安は増大している。

また、酪農はここ3年生産調整から始まり穀物、石油類、生産資材の高騰により経営体力は限界に達していると思う。預貯金の減少、家計費の減額、家計からの経営費の繰り入れ、短期借入れの増大、最後に長期生命共済の解約と、崖けつぶちの状況にある。

1戸当たり3年で40

A

0万円近い経営体力を落として。町長は基幹産業の漁業と農業を「守る」政策に力を入れているが本当に守られているか、守ろうとしているのか伺いたい。

現状分析すると、酪農はもとより水産、加工流通、運輸、雇用、消費経済まで影響が出ている。

漁業は3年前からのボデーブローと昨年の不漁でカウンタパンチになった。漁場間格差も出ている。加工は原料確保が潤沢にいかず、円高で在庫が残った。13工場の内7社がけわしい状況にある。

酪農は生産調整や飼料等の高騰など経営外の原因が収益を下けている。課題は山積するが、まず国が水産、農業の基本

法をもっている。

道も道策として守ってほしい。その上にたつて町は負担など補完的役割をはたす。

守られているかと問われれば他町も含めてイエスと答えられない。守ろうとしているかと問われれば当然守ろうとしている。農、水産基金をもつて何時出勤するかが難しい。取り崩すと積みなくなるのではないか。できる限り崩さず次に備える。

Q 1次産業の政策は成果が出るまで時間がかかる。

る。常に政策を検討し手を打つことが必要。国も道も地方に多くの政策を出している。

行動計画行程表を作るべきではないか。

農業担い手育成総合対策協議会で協議している。農政に反映していけるか十分考えていきたい。

(まちづくり提言)

①国際化と高齢化をしつかり見つめる。②地域の素材を生かし勝負する。③国頼み、道頼みから脱却する思いで政策を作る。④官も民も総力を上げて

町作りをする。⑤食の安全、安心を地域上げて構築する。⑥中央と地方の情報共有する。⑦公共事業は環境や国土保全を優先する。⑧住民に自治の感心をもたせる仕組みを作る。⑨情報公開を徹底する。⑩農、水、商工が一体で地域社会を支え合う。

A

行程表は時間がかかるがスピードを上げて、道の政策を検討し取り入れるか考えたい。



港に活気が出る恒久政策を



人も牛も持続可能な恒久策を

国歌「君が代」歌われていますか

一部の学校で歌声が不十分



吉田浩一議員

願うひとりです。

①各学校において完全実施されていますか。

②「君が代」の学習指導内容は。

③今年の成人式時、前奏がなかったのは何故か。

Q わが国がいつまでも繁栄するようにとの国民の願いをこめた国歌「君が代」が、個人の思想・信条の枠を超えて等しく愛され、歌われることを

A ①教師・児童生徒が起立のうえ、斉唱していますが一部の学校で歌声に不十分な点があり、校長を通し適切に指導していきます。

国歌の学習は他の学習と同様のものであり、各儀式で発表されるのが当然であると考えます。

②小・中学校ともに学習指導要領に基づき、社会科学・音楽科・特別活動で国歌斉唱の意義を指導しています。

③今年から新たなCDを使用した際に前奏の無いものであったため、改善することしております。

酪農家の労働軽減策は

公共牧場・ヘルパーなどで対応

Q 酪農家の労働は周年拘束され、他の職種の年間労働時間1,820時間に対して2,600時間から3,600時間と長時間にわたる。

また、収穫繁忙期は1日あたり14〜15時間の苛酷な労働となっている。医学的には長時間労働による疲労の蓄積から脳・心臓疾患の発症率が高くなるとされています。

過重労働の軽減策が必要ではないか。

①酪農家の過重労働について保健行政の認識は。

②酪農家の労働軽減について農業行政の対応は。

③後継者対策は緊急の取り組みが必要と思うが。

A ①腰痛・膝の痛みなど他の職種より多い傾向にあります。データが少なく今後は産業別健康調査をきめ細かく行

い町民の健康づくりに努めていきたい。

②公共牧場・コントラ・ヘルパー・デリーパーなどに取り組み、過重労働の軽減を図りたい。

③対策の成果が上がるように工夫を凝らしていきたい。

人材育成、管理職は万全か

人事管理に苦慮、勉強が重要

Q 人・人材は絶えることのない資源で現代の困難な社会こそ求められている。

人材の育成・活用は重要な視点であり、環境づくりを進めるために人材育成マスタープラン戦略の作成はどうか。

①役場職員は大量定年退職や定数削減により、求められる職務、質・量ともに増してくる。管理体制は万全か。

②青年・女性による地域づくりの役割は大きい。どのような取組みをしているか。

A ①職員の職務に対する負担感・ストレスが増大している現状の中でも町民の負託に答えるべく、常に勉強していかなければならない。

②組織活動が高度成長以降において低下傾向にあると思われるが地域づくりに相互連携は不可欠であり、情報の共有化や研修機会の拡充に努める。

予算点描

平成21年度予算審査特別委員会が3月16日から18日までの3日間にわたり開かれました。骨格予算を基本とする今年度予算ですが、昨秋の鮭定置網漁の不漁など本町の厳しい地域経済状況の中で、緊急且つきめ細かい予算執行が求められています。

(抜粋・要約して掲載しています)

多数の傍聴者の中での予算審議



歳入

Q 町税の徴収体制の強化は。また、誓約書の取り交わし状況は。

A 職員全身体制で納税相談を行い、前年度を上回る収納状況。誓約書は135件(約8割)で、残りは徴収できる見込み。

歳出

【総務費】

Q 臨時職員の賃金が安いのでは。

A 今年度見直して11%上げている。690円から720円に、資格を有する者は780円を860円と改訂。

Q 中途退職者が多い原因は。また、職場環境として万全を期されているか。

A 勸奨制度、結婚などが中途退職の要因。心身の対応については衛生委員会を設置し、研修を

施するなど対策を講じている。

Q 定住促進の条件の見直しは。

A 条件緩和の声があれば、緩和を頭に置きながら21年度以降となる。

【民生費】

Q ①社会福祉法人会への負担金はなぜ。②国民健康保険特別会計への繰出だが今後の見通しは。

A ①職員の人件費の2分の1を補填、今後建物などの修繕を考えるとやむを得ない。②負担が限界にきているのは確か。標津町では政策的に繰入をしている。

【衛生費】

Q 健康診断の検診率向上対策は、農業従事者が受診しやすい時間帯に。

A 今年度から特定保険検診は各保険者が行う制度となった。国保の検診率は18・5%であり少ないが標津病院での受診は

450人が800人と増えている。事業者については病院で実施している。

6・9・10月の3回で朝の6時から行っている。時間については今後協議しながら検討する。

【農林水産業費】

Q トド山育成牧場の完熟堆肥作りの結果と糞尿の有効利用は。

A 戻し堆肥として牛床に利用しオガクズなどの軽減を図っている。堆肥作りを進めることにより原材料を減らす取り組みも必要、町としていいものについては紹介する。

Q 22年以降の草地整備は。

A 15年度より20年度まで2,580畝を実施、19年度から24年度まで2,400畝を予定。中山間地域直接支払いで230畝実施で15年に1回ペースとなる。

Q ①サクラマスの増殖の取り組みは②サケ以外



新しい漁業資源確保にウニ造成作業

狭だ。観光資源を増やすためにも保管庫は必要だ

A シーズン外の提供ができるように部位別に一括管理して提供すると食文化が発達する。今年はテーマにしてサケ文化を一歩進める。

Q 標津産品の専門販売員は、サケ・ホタテ消費流通とリンクするのか。

また、地域ハサップは全体的に意識が薄くなっている。

A 消費対策協議会の事業とリンクするもの。地域ハサップは目的でなく手段である。どうやって買ってもらうかが大事。

【教育費】

Q へき地保育園の給食を特区申請すると可能だ。

A 国において保育園の施設外調理が認められていない。仮に規制緩和されたとしても、技術的・搬送時間や搬送車・建物の増設が必要となり現時点では困難。今後、幼保の一元化を研究していく中で検討。

Q 公園遊具緊急安全委託の内容は。また、公園自体の管理の考え方は。

A 教育委員会、福祉センター、公園管理担当者と協議をし、国のマニュアルに沿って専門家の診断を受ける。

公園管理は利用する町内会に管理してもらうが最後の責任は町が負う。

Q 学級崩壊・いじめ・不登校の実態は。危機管理マニュアルの体制を確立して対応を。

A 教員資質向上を図りながら学校体制を整えていく。いじめは学校の指導で短期間で解決してい

る。不登校はあるが、担任が毎日生徒との接触をしている。危機管理マニュアルは校長会議の中で話して指導。

Q 小中合同運動会を実施すべき。ラジオ体操の日常化を。

A 運動会は学校とPTAと協議し、今の教育の課題を解決する視線で。毎日のラジオ体操は朝読書をしているので難しい。

Q ポー川史跡自然公園の世界遺産登録の現状は。

A 課題として世界的な観点から遺跡群の価値を証明する必要がある。時間をかけながら資産を高めていく。

【介護保険特別会計 事業勘定】

Q 介護認定者の介護相談が居宅介護の支援事業で実施されているのが、激減している理由は。

A はまなす苑、民間のこすもすが充実してきて

包括支援センターでの役割が減った。

Q グループホームの入所希望者が多い場合は標津町民が優先されるのか。

また、入所を決める権限はどこにあるのか。

A 入所に関しては事業者が決めるが、町民を優先させてもらう。

【総括】

Q 一次産業を中心に緊急の経済対策を。

A 有効な町の財政出動のタイミングがいつなのか見極める必要がある。今後状況が踏まえれば投入する。

Q 金澤町長4年間の評価は。

A 4年間は負の取り組みに翻弄された。なすべき施策は多くあるが、今の危機的状況に前向きに何をすべきか財政バランスが必要。協働の町づくりを進めてきた。

の魚種の漁獲を上げる方法を考えるべき。

A ①サクラマスを漁業資源まで増やすのは難しい。他の魚種で年間操業体制を作るよう漁協と協議している。

②新資源は根付け資源(ホタテ・ホッキ・ウニなど)に限られるが何をターゲットにするか検討課題。

Q ふれあい加工センターの冷蔵庫と冷凍庫が手

編集室



新しい年度を迎えまして。

昨年度は、定置漁の不漁や農業資材の高騰など当町基幹産業は大打撃を受けました。

当然3月、4月議会、

3月の予算審査の議論も、その対応、対策に多くの時間を費やしました。

平成21年度は、標津町民が活気に満ち、各産業が力強く発展し、豊かな生活が営めますように。

(大垣 勇)

議長	片岡 博司
広報特別委員会	
委員長	吉田 浩一
副委員長	小川 悠治
委員	安達 護
委員	大垣 勇

町民の声

(50代女性)

この度の給付金に伴うプレミアム商品券(行政が30%支給)は、いったいどんな目的で出されたのでしょうか。商工会に丸投げしただけで、行政の考え方や基準がはつきりわかりません。

商品券を買った人が、町内のどこのお店でも買い物ができるようにするべきではなかったでしょうか。商工会員の所だけがお店では

今回のプレミアム付

商品券の発行には税金を投入しているにもかかわらず、町商工会加入店でしか買物ができないのは、町民(消費者)にとって著しく不公平な政策ではないか。商工会も商工会に未加入の店を締め出すのであれば、商工会独力で、税金を使わないで実施すれば、町民も理解するのではない

(60代男性)

町内一斉清掃が近づいてきましたのでゴミ箱について一言書かせていただきます。

暖かくなつてゴミ箱の前を通るだけで臭いがするようになりまして。分別は大変種類が多くて苦労している人がたくさんいると思います。ゴミ分別一覧表を

最近、「個人情報保護法」によりウンヌンということをよく耳にします。

それは何を守るものなのでしょう。一昨年そして昨年福祉灯油が支給されて大変感謝していますが、隣接町の知人は支給されませんでした。

(40代女性)

「町民の声」の投稿をお願いします。議会事務局まで。

(50代女性)

後日役場に問い合わせ